

かんきつの カイガラムシ 防除に 新・殺虫剤



モベント[®]X フロアブル

カイガラムシ類とミカンサビダニ、
チャノホコリダニ、アブラムシ類の
同時防除ができる！

無人航空機適用拡大!!



ミカンサビダニ被害

ヤノネカイガラムシ被害

チャノホコリダニ被害

©愛知県果樹研究センター
チャノキイロアザミウマ
被害

©福岡県総合農業試験場
ミカンハダニ
被害



適用害虫と使用方法（かんきつのみ抜粋）

2020年12月現在の登録内容

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	使用回数*		使用方法
					本剤	スピロテトラマト	
かんきつ	アブラムシ類 アザミウマ類 カイガラムシ類 ミカンサビダニ チャノホコリダニ ミカンハダニ	2,000倍	200~700ℓ/10a	収穫7日前まで	3回	3回	散布
	アブラムシ類 アザミウマ類 カイガラムシ類 ミカンサビダニ チャノホコリダニ	32倍	4~6ℓ/10a				
		40倍	6~8ℓ/10a				
		50倍	8~10ℓ/10a				
		80倍	10~15ℓ/10a				
		100倍	15~20ℓ/10a				
		160倍	20~30ℓ/10a				
	250倍	30~40ℓ/10a					
320倍	40~50ℓ/10a						

●その他の適用作物、適用害虫等は製品ラベルをご確認下さい。

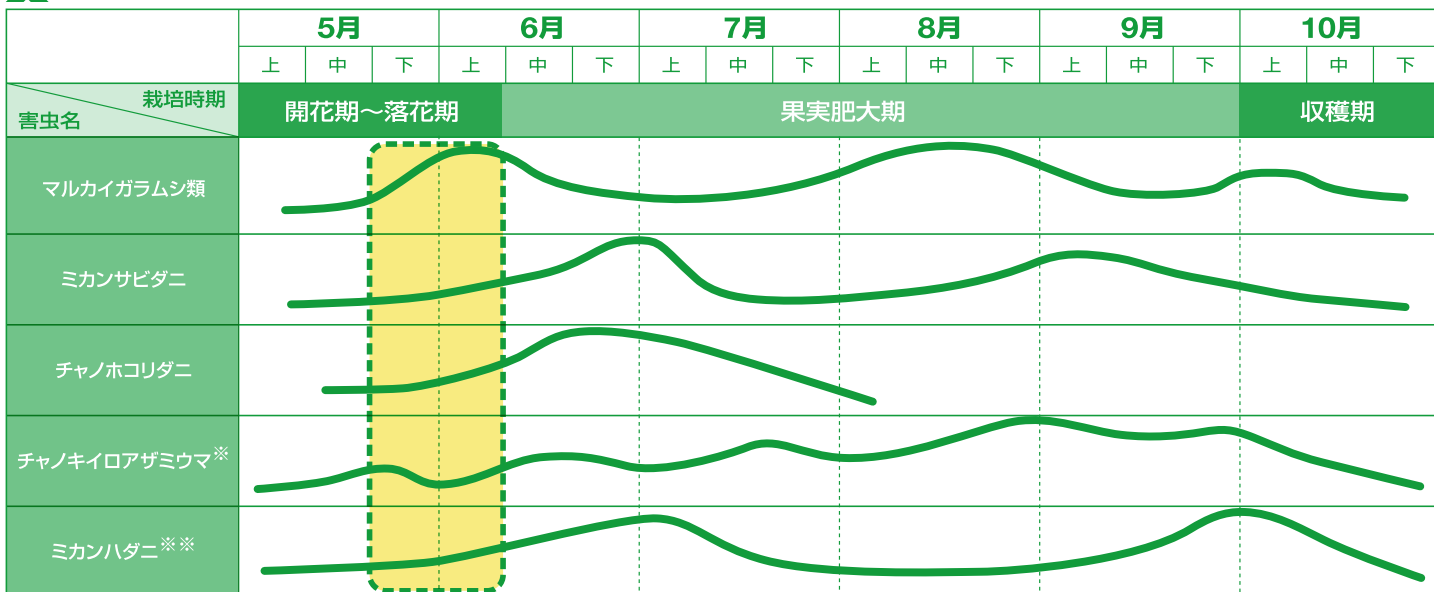
*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびその有効成分を含む農業の総使用回数の制限を示します。

®モベントはバイエルグループの登録商標

- ヤノネカイガラムシやアカマルカイガラムシ等のマルカイガラムシ類およびミカンサビダニに対して高い防除効果を示すとともに、長期にわたる優れた残効性を有します。
- チャノホコリダニ、チャノキイロアザミウマ、アブラムシ類も同時防除可能です。
- ミカンハダニに対する密度抑制効果も期待できます。

害虫の発生消長と散布適期

散布適期



※モベント[®]フロアブルは、チャノキイロアザミウマの成虫に対して効果が劣るため、密度が上がる前の散布がお勧めです。

※※モベント[®]フロアブルは、ミカンハダニの密度が高まる前の散布により、密度抑制効果が期待できます。

品種薬害事例

以下の品種に対して、モベント[®]フロアブルは薬害が認められませんでした。

品 種
青島温州・アレンユーレカ・伊予柑・岩崎早生・上野早生・大津四号・興津早生・十万温州・湘南ゴールド・新甘夏・垂水1号・土佐文旦・豊福早生・南津海シードレス・日南1号・八朔・原口早生・ビラフランカ・宮内伊予柑・宮川早生・宮本早生・ラフレモン・ゆら早生・ユーレカレモン・早生温州

混用事例

殺 虫 剤			殺 菌 剤		
MR.ジョーカー水和剤	オリオン水和剤40	テルスターフロアブル	アリエッティ水和剤	ストロビードライフフロアブル	フルーツセイバーフロアブル
アクタラ顆粒水溶剤	キラップフロアブル	ハーベストオイル	エムダイファー水和剤	デランフロアブル	フロンサイドSC
アドマイヤーフロアブル	コロマイト水和剤	マッチ乳剤	コサイド3000	ナティーボフロアブル	ペンコゼブ水和剤
エクシレルSE	スタークル顆粒水溶剤	モスピランSL液剤	ジマンダイセン水和剤	ナリアWDG	マネージDF
エルサン乳剤	ダントツ水溶剤	モスピラン顆粒水溶剤	スイッチ顆粒水和剤	ファンタジスタ顆粒水和剤	ムッシュボルドー

上記薬剤は、モベント[®]フロアブルとの散布での混用によって、薬害が認められなかった事例です。なお、気象条件、栽培条件、生育ステージ、品種などにより異なった結果が得られることも予想されます。上記事例は、使用の安全性を保証するものではなく、あくまでも参考事例としてお取り扱い下さい。

ボルドー液との混用・近接散布について

●ICボルドー412、66Dとの混用は避けて下さい。近接散布では、前後「1週間」以上の散布間隔をあけて下さい。

注意事項

- 使用前によく振ってから使用して下さい。
- 本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守って下さい。
 - 1) 散布は散布機種種の散布基準に従って実施して下さい。
 - 2) 散布に当っては散布機種種に適合した散布装置を使用して下さい。
 - 3) 散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行って下さい。
- 蚕に対して長期間毒性があるので、周辺の桑葉にかからないようにして下さい。
- 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 最高分けつ期から出穂開花期の稲に本剤がかかると不稔などの薬害を生じる場合があるので、かからないように注意して下さい。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用して下さい。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 誤飲などのないように注意して下さい。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせて下さい。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受けて下さい。
- 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合には直ちに水洗して下さい。
- 使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用し、作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに衣服を交換して下さい。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯して下さい。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

バイエル クロップサイエンス株式会社

東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 <https://cropsience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078 9:00～12:00, 13:00～17:00
 土日祝日および会社休日を除く